



放課後等デイサービスにはどんな活動があるの？



A. 大きく分けて4つほどあるよ。

一人ひとりの放課後等デイサービス計画に沿って、いくつかの基本の活動を組み合わせて支援をしていくよ。

自立支援と日常生活の充実のための活動

それぞれの子どもの発達に応じて必要になる日常生活動作(ADL)や自立した生活を支援するための活動をするよ。

子どもが楽しみながらできる遊びを通して、成功体験をたくさん経験してもらって、自己肯定感を育んでもらうんだ。

将来の自立や地域での生活を見据えた活動をするときは、学校との連携が欠かせないんだ。子どもが通う学校で行われている勉強を参考にして、方針や役割の分担なんかを共有出来るように、学校との連携を図りながら支援をおこなうことになるね。

創作活動

表現する喜びを体験してもらえるようにするよ。

散歩とかで、自然の中で季節の変化に興味を持てるような、豊かな感性を培ってほしいんだ。

地域交流の機会の提供

障がいがあるからって、社会生活やいろんな経験の範囲が制限されてほしくないんだ。

社会経験の幅を広げて行ってほしい。

積極的に地域との交流を持ってほしいので、他の社会福祉事業や地域で放課後に行われているいろんな学習や体験、交流活動と連携したり、ボランティアさんにも手伝ってもらったりしているんだよ。

余暇の提供

やってみたいなと思う遊びや、自分自身をリラックスさせる練習とか、いろんな活動を自分で選択して取り組めるようになってほしいんだ。

だから、その経験を積み重ねることが出来るようにいろいろなプログラムを考えているよ。

ゆったりとした雰囲気の中で行えるといいね。

[《MENU》](#)

[《子どもの最善の利益の保証って？》](#)

[「障がい福祉事業」ってどんな事業？》](#)

2021-02-08 掲載